

町屋7丁目10,000㎡用地の配分案が 特養ホームは4,000㎡ 4年後完成予定



土地の配分案（下図参照）

- (1) 特別養護老人ホーム用地 4,006.38㎡
- (2) 区立尾竹橋公園拡張用地 6,458.94㎡
- (3) 区道・管理通路拡幅用地 283.35㎡
- (4) 区道整備のための交換用地 960.50㎡

今後の予定

- 2009年度特別養護老人ホーム用地・道路拡幅用地買戻し（土地開発公社から）
- 2010年度公園面積変更の都市計画決定
- 2011年度都市計画公園整備事業認可公園拡張用地の買戻し
- 2012年度特別養護老人ホーム開設
- 2015年度スーパー堤防工事完了
- 2016年度公園拡張整備

どんな地域に変わるのでしようか？
1ヶ所の公園が誕生、緩傾斜堤防も…

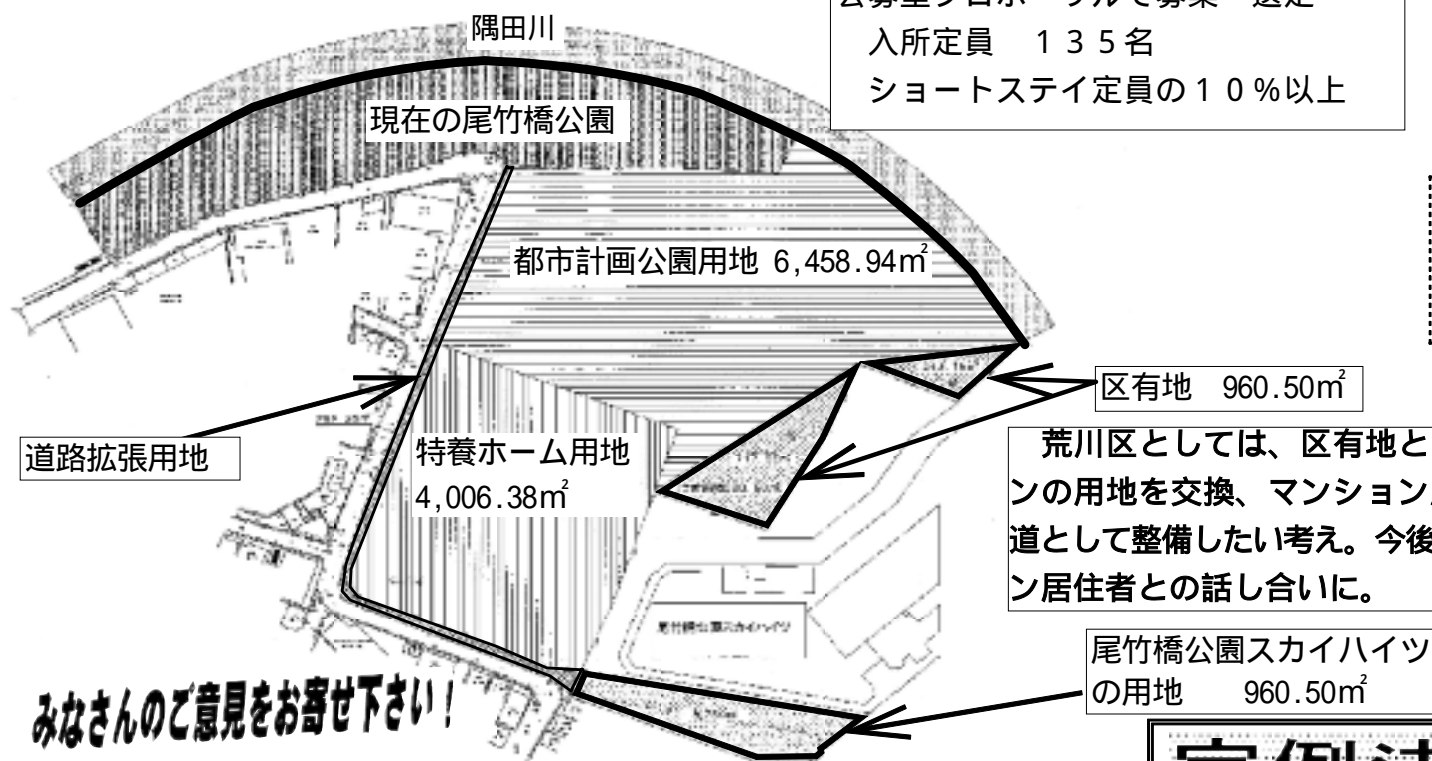
区は、町屋7丁目のホクヨープライウッド跡地の利用について土地の配分案と特別養護老人ホームの建設内容について区議会に報告しました。（左、下囲み）

それによると、特別養護老人ホームは、区の示した施設内容をもとに公募し、事業者の「提案」など審査するプロポーザル方式で決めるとしています。

また公園部分は、完成すると現在の尾竹橋公園と一体に整備され、1ヶ所を超える区内で数少ない公園として整備される予定です。堤防も現在のカミソリ堤防から親水型のスーパー堤防（緩傾斜堤防）に改善される予定です。道路の拡幅なども計画に入っています。周辺地域のまちづくりにとって大事な事業です。住民との十分な協議と合意を重ねた取り組みが必要と見られます。

《特別養護老人ホーム 公募内容》

特養ホームを建設運営する事業者を公募型プロポーザルで募集・選定
入所定員 135名
ショートステイ定員の10%以上



みなさんのご意見をお寄せ下さい！



まちの話題あれこれ
区役所前の公園でもイルミネーションが夜間大型カメラで写真撮影の方も…

もう師走です。デフレ、円高、雇用不安と「暗い」話題が多い昨今ですが、Xマス、年末商戦に向けたデコレーションも目に付くようになりました。区役所前の公園にも樹木と噴水にイルミネーションが点灯しています。大型カメラで夜間撮影に来た方も目にしました。ご覧になりましたか？

横山幸次

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

368

2009年12月 6日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

横山幸次区議のホームページをご覧ください。
「横山区議」で検索して下さい。

定例法律相談

12月7日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。



区の「補正予算」で見えてくる 区民の暮らしのたいへんさ...

**総額15億円超の増額：可決へ
生活保護、障害者福祉の増加など**

荒川区は、15億円を超える補正予算を提案。内容は、福祉衛生費の増額です。12月1日の総務企画委員会で審議されました。最大の要因は、生活保護費の増額です。昨年来の景気後退、派遣切り、失業、倒産など区民にも深刻な影響を与えてきました。急激な生活保護の増大もその現れです（下表参照）。また障害者福祉は、介護報酬の引き上げとともにガイドヘルパーの要件緩和（余暇や通学にも利用できる）などによって増加したようです。区民の苦難に社会保障制度と地方自治体はどう応えるかを考えさせられる補正予算です。



補正予算の内容

障害者自立支援の扶助費 増額 1億7800万円

利用者数の増加や報酬改定等の影響に伴い、障害者福祉費を増額。

生活保護費 増額 11億2400万円

被保護者数の増加に伴い、生活保護費を増額。

新型インフルエンザワクチン接種

実費負担軽減 2億3000万円

新型インフルエンザワクチン接種に伴う費用の一部を助成



本庁舎の耐震改修工事について、2009年度から2011年度にわたる債務負担行為を新たに設定する。

（本庁舎耐震改修工事15億4100万円を限度額）

荒川区の生活保護推移

	2007年3月	2008年3月	2009年3月	2009年10月
被保護世帯	3,680	3,705	3,923	4,230
被保護人員	4,478	4,511	4,769	5,153
保護率	23.3	22.9	23.9	25.5

（保護率は、パーミル = ‰ 1,000分率）

今年1月から（右表参照）

生活保護の相談、受給が急増

相談、申請受理とも、2年前の約2倍。結果「相談のみ」「継続」の方も多くなります。相談、保護が増えても対応する職員体制が十分とはいえません。区民一人一人に心寄せるためにも体制強化が必要です。

生活保護相談受付件数

	2007年度		2008年度		2009年度(7ヶ月)	
	年間合計	月平均	年間合計	月平均	7ヶ月合計	月平均
相談	1,661	138	2,038	170	1,667	238
申請受理	555	46	702	59	591	84

2012年 町屋地域に福祉施設など次々完成予定 施設周辺と区役所、駅をつなぐコミュニティーバス整備の検討を

一面でもご紹介しましたが、町屋の地域も大きく変わろうとしています。1ヶ所の公園、地域内二つめの特養ホーム、障害者施設の建設、合わせて隅田川沿いのマンション建設などなどです。一方で、都営住宅の建て替えによる転居で多くの高齢者の方も移ってこられました。

高齢者も障害者もそして子育て世代、子どもたちなど全ての階層が豊かに暮らせるまちづくりが必要です。その要の一つが、交通手段の確保です。やはり、特養ホームや障害者施設、都営住宅など結ぶ公共交通手段がどうしても必要です。タイムリミットは2012年。当面コミニティーバスの路線延伸について真剣な検討が求められます。

